

大学院特別セミナー

「ナノマテリアルの健康影響

～未病とのかかわりは？～

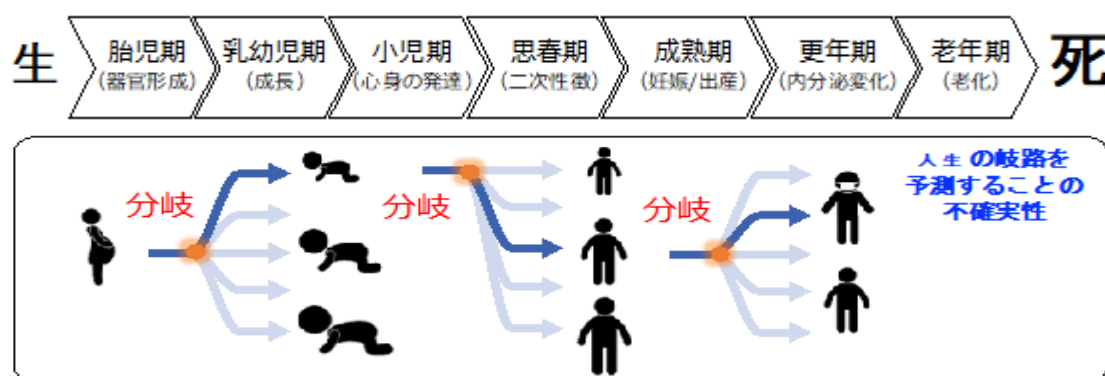
講師 堤 康央 栄誉教授

大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野

● 日時 2021年6月7日（月） 17:00～18:30

* Zoomでの開催となります。

100 nm以下に制御されたナノマテリアル（人工ナノ粒子）は組織浸透性が向上することから、化粧品、食品など我々の生活に必須の素材になっています。またナノ粒子は、その有益性とは別に特有の生体応答を引き起こします。堤先生はこれまで、ナノマテリアルが妊娠マウスの胎盤を通過し胎仔に移行し胎仔発育不全を誘発する、ことを明らかにするなど、ナノマテリアル研究の第一人者です。そして、ナノマテリアルの「物性（粒子素材/粒子径/表面性状)-動態-安全性」を連関解析することにより、ナノマテリアルの安全な使用法も明らかにされています。そして現在、下図のようなヒトの一生における分岐点において変化する生体応答を解析し、病に至る前（未病）の段階で病気を予知し、健康でより良い一生を送れるようにできるプロジェクトを開始されています。我々の身近にあるナノ粒子と、ヒトの健康に如何なる繋がりがあるのか？是非、皆さんのご聴講をお待ちしております。



【堤先生の主な論文】

- Silica and titanium dioxide nanoparticles cause pregnancy complications in mice., *Nature Nanotechnology*, 6(5):321-328, 2011. [IF:33.4]
- Quantifying the biodistribution of nanoparticles., *Nature Nanotechnology*, 6:755, 2011.
- Metal nanoparticles in the presence of lipopolysaccharides trigger the onset of metal allergy in mice., *Nature Nanotechnology*, 11(9): 808-16, 2016.
- Distribution of silver nanoparticles to breast milk and their biological effects on breast-fed offspring mice., *ACS Nano*. 10(9): 8180-91, 2016. [13.9]

本セミナーは、講演は日本語、スライドは英語です。

また、大学院の単位認定の対象となります。

受講を希望する場合は、**医薬系学務課**までご連絡下さい。

医薬系学務課 内線：7657 E-mail: mpin@adm.u-toyama.ac.jp

担当：富山大学医学部産科婦人科学教室 中島 彰俊（内線：7355）